

## 2017年度（平成29年度）前期終了時点電子工学科1年生向けアンケート結果

本アンケート結果は2017年前期・電子工学一般において1年生の皆さんに回答していただいたアンケートを集計したものです。アンケートへのご協力ありがとうございました。ここでは、アンケートの結果および電子工学科からの教員側からの返答をまとめました。是非最後まで読んでみてください。

### 1. あなたはなぜ芝浦工業大学電子工学科に進学しましたか？

図1に問1の回答分布を示します。

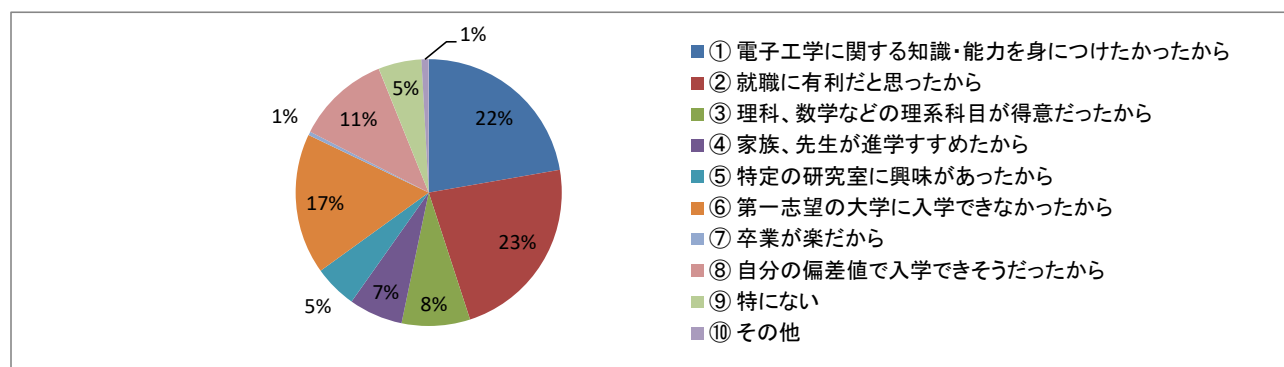


図1. 問1の回答分布の円グラフ

この質問は学生の皆さんが芝浦工業大学電子工学科に進学を選んだ理由を調べるためのものです。

#### [積極的な理由]

“①電子工学に関する知識・能力を身につけたかったから”、“②就職に有利だと思ったから”、“③理科、数学などの理系科目が得意だったから”の合計：53%。昨年度の56%よりわずかに減少。“⑤特定の研究室に興味があった”が5%。半数近くは積極的な理由であり、うれしく思います。

#### [消極的な理由]

“④家族、先生が進学をすすめたから”、“⑥第一志望の大学に入学できなかったから”、“⑧自分の偏差値で入学できそうだったから”の合計：35%。昨年度の32%よりわずかに増加。不本意であっても、気持ちを切り替えてゴールに向かって下さい。

## 2. あなたが受験する大学を選択した際、参考にした情報源は何ですか？

図2に問2の回答分布を示します。

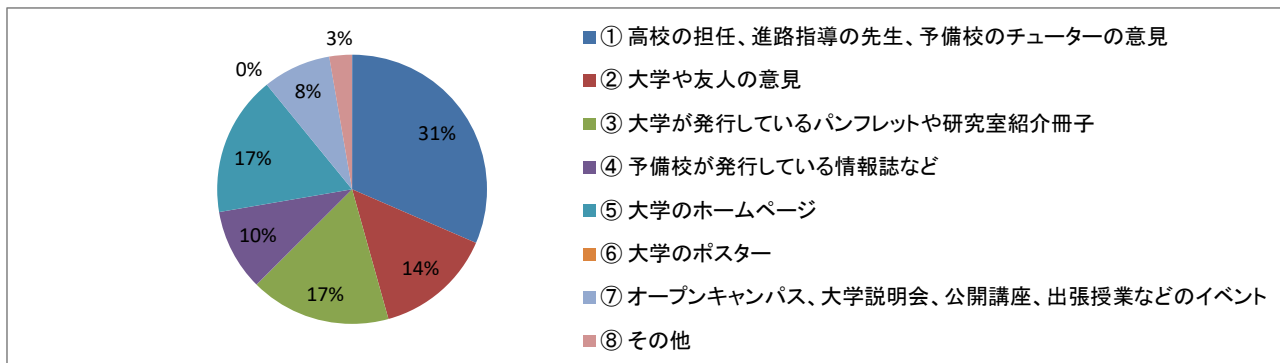


図2. 問2の回答分布の円グラフ

この質問は学生の皆さんが大学を選ぶ際に、参考にした情報源を調べるためのものです。“①高校の担任、進路指導の先生、予備校のチューターの意見”が最も多かったです。次いで“③大学が発行しているパンフレットや研究室紹介冊子”、そして⑤大学のホームページでした。昨年度から③が24%から17%と減少したのに対し、⑤は13%から17%に増加しました。“⑦オープンキャンパス、大学説明会、公開講座、出張授業などのイベント”は同程度でした。ホームページの影響が大きくなっています。本学・本学科のホームページも見やすくなるよう更新を行っています。

3. あなたが受験する大学を決める上で、最も重視した項目はなんですか？一つだけ選択してください。

図3に問3の回答分布を示します。

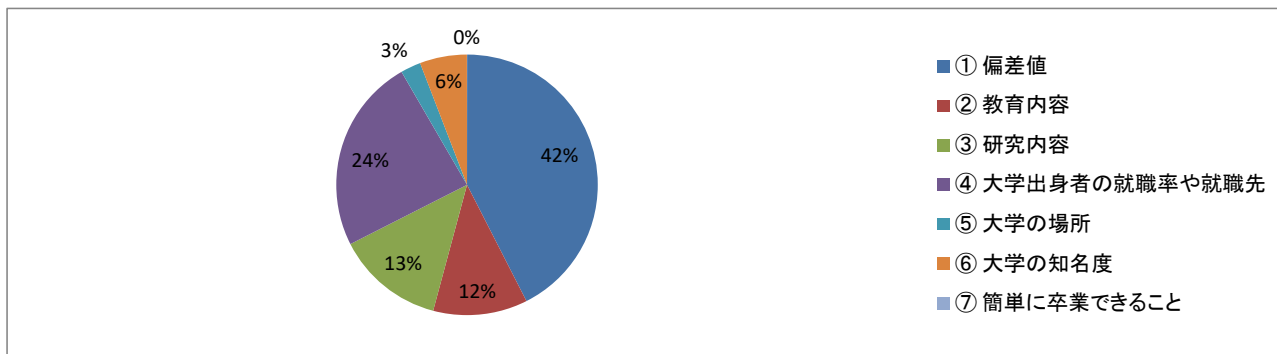


図3. 問3の回答分布の円グラフ

この質問は学生の皆さんが大学受験の上で重視した点を調べるためのものです。“①偏差値”が最も多く、次いで“④大学出身者の就職率や就職先”でした。特に①は昨年度の25%から42%と大きく増加しています。問1において、消極的な入学理由が多かったことと関係があるかもしれません。一方で、④、“②教育内容”、“③研究内容”の割合が少なくなりました。本学科では水準の高い魅力的な教育を提供しており、また研究により深く取り組むための大学院もあります。是非、進学も視野に入れて欲しいと思います。

4. あなたはいつ芝浦工業大学を進学先として意識しましたか？一つだけ選択してください。

図4に問4の回答分布を示します。

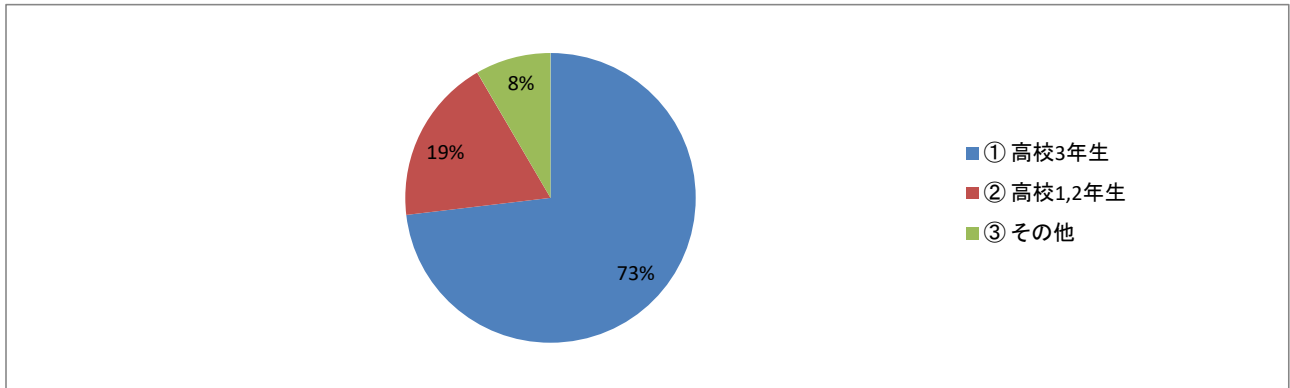


図4. 問4の回答分布の円グラフ

この質問は学生の皆さんがいつ芝浦工業大学を進学先として意識したかを調べるためのものです。ほとんどの人が“①高校3年生”と回答しておりました。昨年度より7%増加していますが、7割近いのは同じでした。多くの方が進学直前に意識しています。

5. あなたが大学の勉強で最も修得していきたいと考えていることは何ですか？一つだけ選択してください。

図5に問5の回答分布を示します。

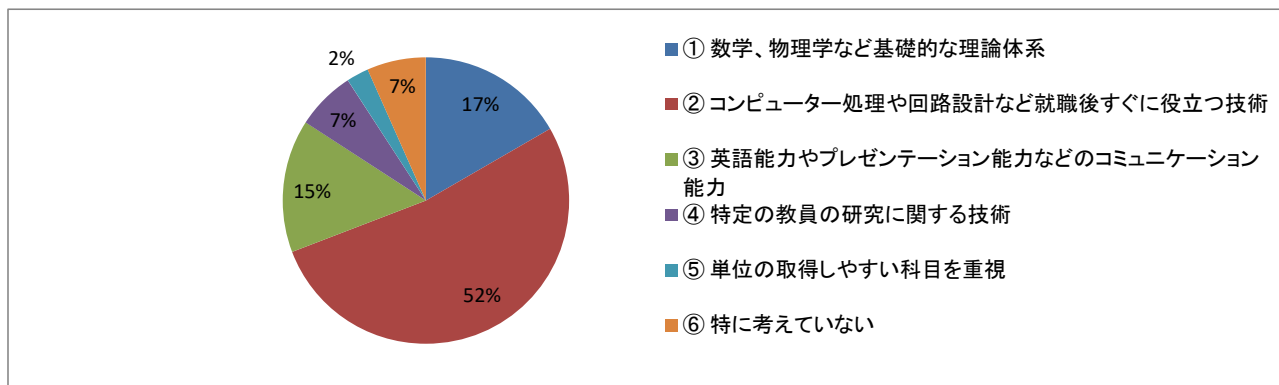


図5. 問5の回答分布の円グラフ

この質問は学生の皆さんが大学で何を学ぼうとしているのかを調べるためのものです。最も多いのが“②コンピューター処理や回路設計など就職後すぐに役立つ技術”でした。②は昨年の43%から52%へ増加しました。皆さんの“電子工学科のイメージ”や就職を強く意識しているものと思われます。次いで、“①数学、物理学など基礎的な理論体系”、“③英語能力やプレゼンテーション能力などのコミュニケーション能力”でした。③について、本学ではスーパーグローバル大学創成支援事業に採択され、通常の留学に加え、海外での問題解決型授業の短期留学の機会が多くなっています。是非利用して下さい。

6. 本学科では3年次の電子工学ゼミナールという科目の履修の際に、事実上の研究室配属が行われますが、その事を知っていましたか？

図6に問6の回答分布を示します。

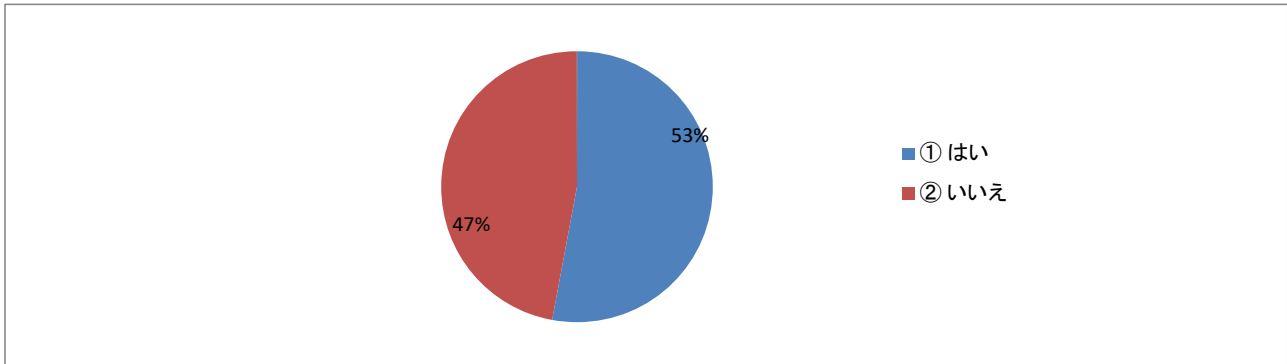


図6. 問6の回答分布の円グラフ

この質問は学生の皆さんが卒業研究を行う研究室配属についての意識を調べるためのものです。47%の方が知らなかったと回答しています。ガイダンス資料を見直し、今後の予定をしっかりと把握しましょう。卒業研究は学部での学びの集大成として4年次に行うものです。3年後期電子工学ゼミナールでは、事前に卒業研究内容に触れて準備をすることで、より充実した卒業研究にして欲しいという意図があります。卒業研究内容によって就職先が制限されることはありませんので、できるだけ興味あるテーマで行うことが望ましいです。普段から自分の興味を意識し、3年前期終了までに方向性を決めておきましょう。

7. 研究室を決める上で、重視しようと考えていることはありますか？ 一つだけ選択してください。

図7に問7の回答分布を示します。

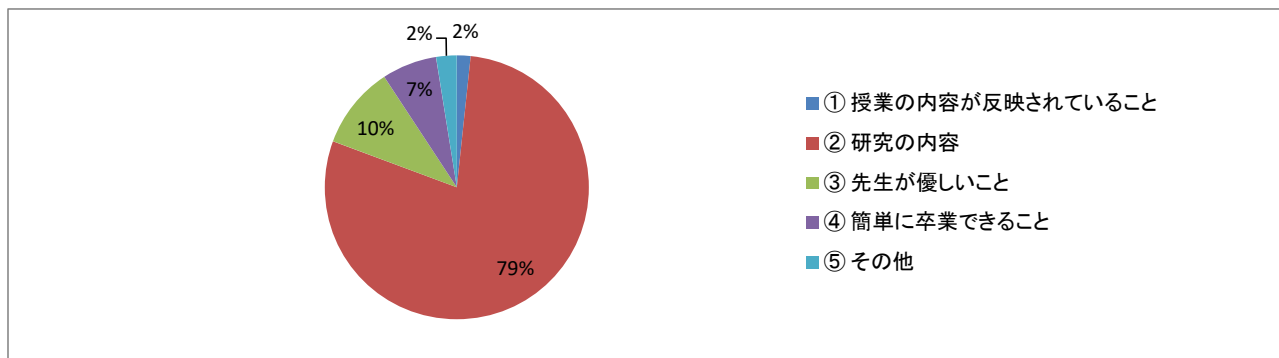


図7. 問7の回答分布の円グラフ

この質問は学生の皆さんが卒業研究を行う研究室について何を重視して選ぶつもりかを調べるためのものです。ほとんどの方が“②研究室の研究内容”を選択しており、正しい意識を持っています。卒業研究は学部での学びの集大成として4年次に行うものです。また、卒業研究内容によって就職先が制限されることはありませんので、少しでも興味あるテーマで行うことが望ましいです。

8. 本学には大学院があり、修士課程や博士課程を修了することで修士や博士の学位を取ることができます。その事を知っていましたか？

図 8 に問 8 の回答分布を示します。

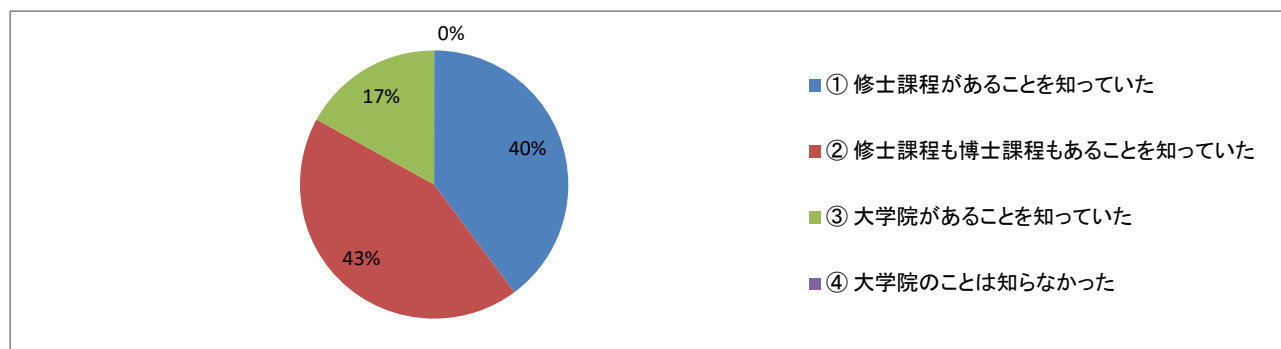


図 8. 問 8 の回答分布の円グラフ

この質問は学生の皆さんが大学院の存在をどの程度知っているか、また進学についての意識を調べるためのものです。本年度は全員が大学院の存在を知っており、また、修士課程と博士課程の両方についても 43%の方が知っていました。大学院ではより高度な研究を行い、より高度な知識を学びます。その結果、大学院生の就職率は学部生より高くなっています。大学院進学も学部卒業後の選択肢の一つとして考えてみてはいかがでしょうか。



9. あなたは大学卒業後の進路について、現在どのように考えていますか？ 一つだけ選択してください。

図9に問9の回答分布を示します。

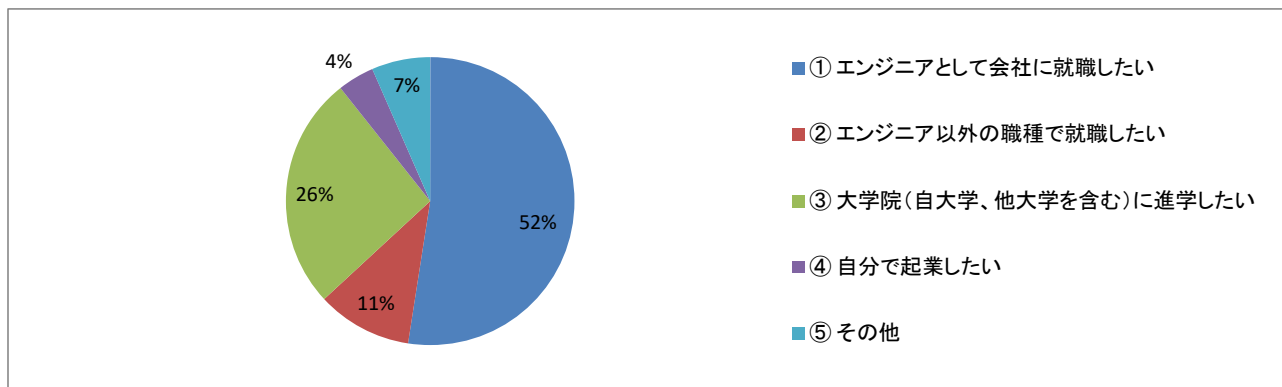


図9. 問9の回答分布の円グラフ

この質問は学生の皆さんが大学卒業後の進路についての意識を調べるためのものです。最も多いのが“①エンジニアとして会社に就職したい”でした。①は昨年度の46%から52%と増加しました。①、“②エンジニア以外の職種で就職したい”、“④自分で起業したい”を含めると67%の方が就職希望となっています。一方、“③大学院(自大学、他大学を含む)に進学したい”が26%と、昨年度の31%と比べ5%も減少しました。大学院では専門的な知識だけでなく、上級のコミュニケーション能力を身につけることができます。是非、大学院進学も視野に入れてもらえればと思います。就職でも進学でも、みなさんの希望が叶うように、今のうちからしっかり学んでいきましょう。

10. あなたが職業を決める上で、最も重要であると考えているものは何ですか？ 一つだけ選択してください。

図 10 に問 10 の回答分布を示します。

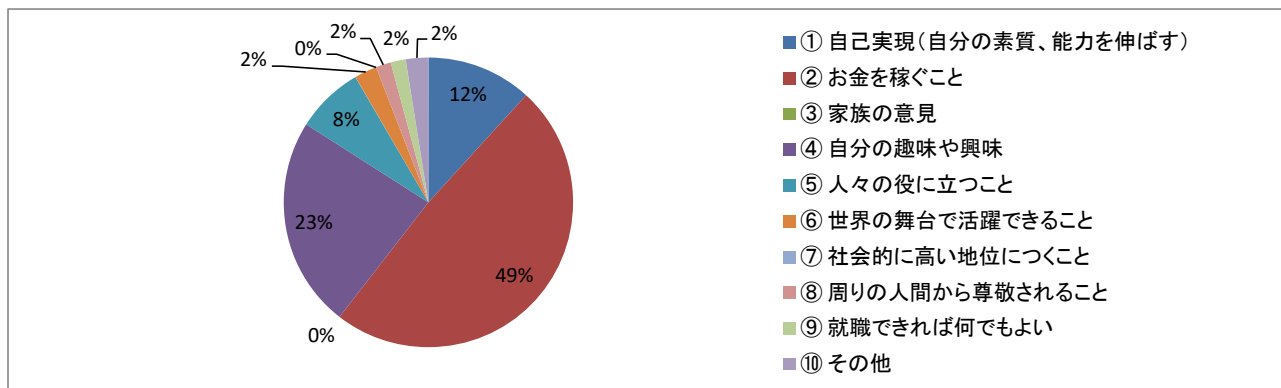


図 10. 問 10 の回答分布の円グラフ

この質問は学生の皆さんが職業を選ぶ際に何を重視するのかを調べるためのものです。本年度は“②お金を稼ぐこと”が49%と最も多く、昨年度の22%より27%増えました。次いで、“④自分の趣味や興味”、“①自己実現”となりました。一方、“⑤人々の役に立つこと”が8%と、昨年度の16%から半減しました。

11. 就職時に必要なもの、または大事なものは何であると思いますか？ 一つだけ選択して下さい。

図 11 に問 11 の回答分布を示します。

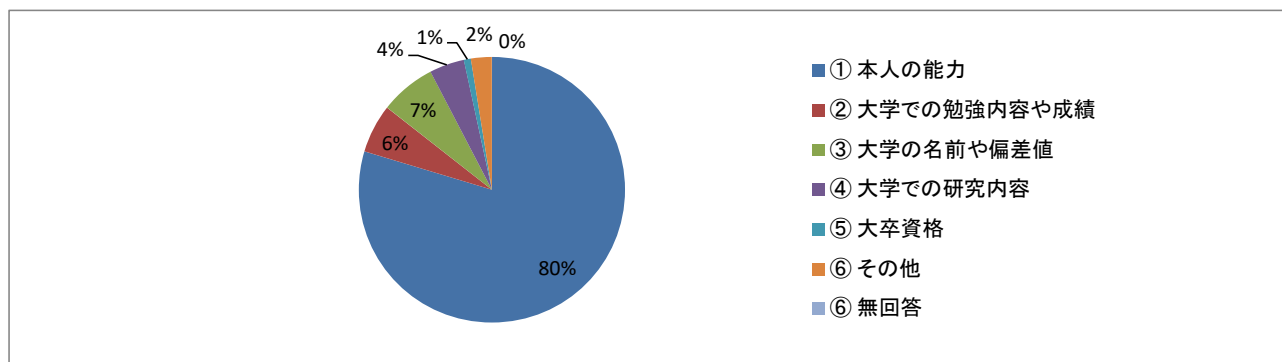


図 11. 問 11 の回答分布の円グラフ

この質問は学生の皆さんが就職に何が必要とされていると考えているのかを調べるためのものです。回答の 80%が“①本人の能力”でした。社会で必要とされるのは、大学の名前・偏差値よりも、本人の能力です。ほとんどの方が正しく把握されています。知識だけでなく、生きていくための総合的な力である“人間力”も能力の一つです。大学の学びだけでなく、他の人との出会いや活動を通し、人間力を高めることも期待しています。

12. 就職状況についてお尋ねします。各企業の新卒採用は「量から質へ」と大きく転換し、厳選採用する傾向にある事を知っていますか？

図 12 に問 12 の回答分布を示します。

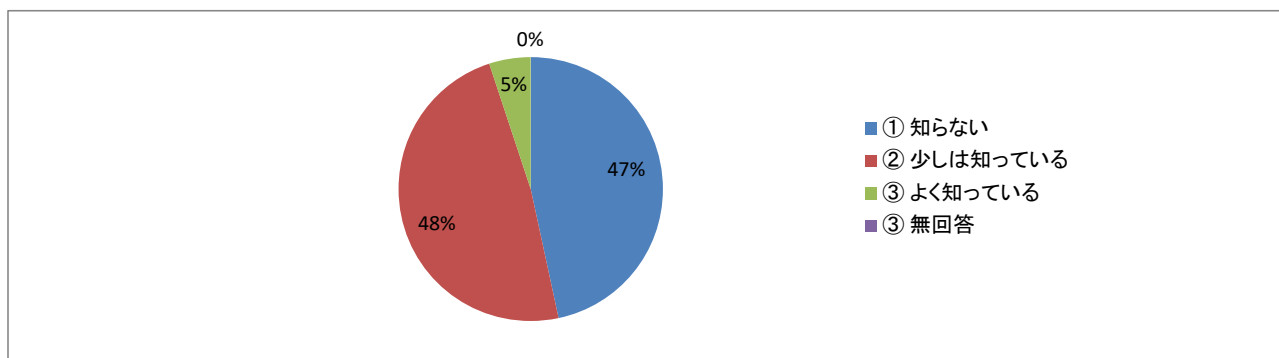


図 12. 問 12 の回答分布の円グラフ

この質問は学生の皆さんが就職状況についてどの程度知っているかを調べるためのものです。95%の方が新卒採用の変化を知っていると回答しております。

就職では企業に採用枠があっても、企業側の目に適わなければ内定は出ません。実力のある学生が内定（内々定）を得る“総取り”傾向が強まっています。実力のある学生を早い段階から目を付けておくため、インターンシップ（学生に一定の期間就労経験をさせること）の低学年化も進んでいます。実力の無い学生はもちろん、過剰演出（いわゆる“意識高い系”）の学生も避けられます。本学科では、皆さんのやる気に応える教育設備や支援体制を整えています。存分に活用して、“実力”を養いましょう。

### 13. 本年度の就職状況について、どの程度意識していますか？

図 13 に問 13 の回答分布を示します。

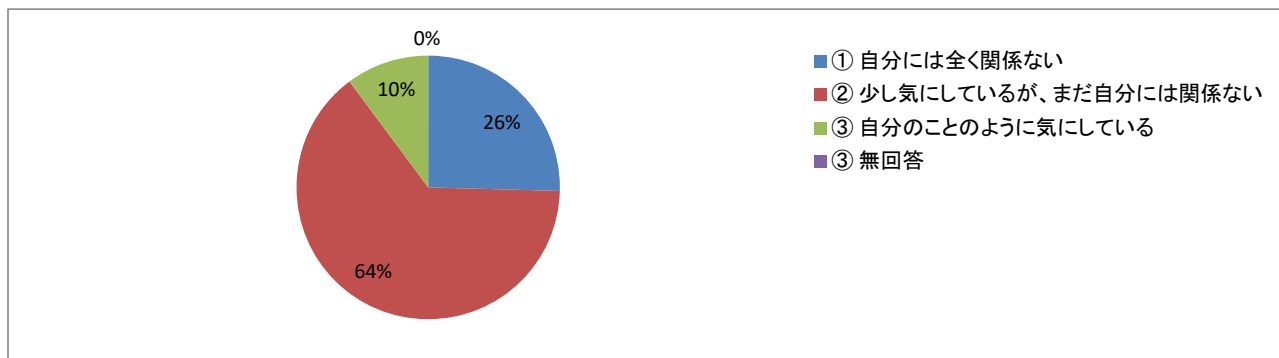


図 13. 問 13 の回答分布の円グラフ

この質問は学生の皆さんが就職状況の厳しさについての意識の程度を調べるためのものです。問 12 では厳しいことを 95%の方が知っていると答えていますが、“①自分には全く関係ない” “②少し気にしているが、まだ自分には関係ない” が 90%ありました。ほとんどの方が「就職はまだ先のこと」という認識です。しかしながら、大学生活は長いようで短く、あっという間に就職活動の時期が訪れます。今から意識しておきましょう。

本学には就職活動を応援してくれるキャリアサポートセンターがあります。また、インターンシップでは企業と直接触れ合うことができます。是非活用して下さい。

14. アルバイトをしていますか？ している場合は週何日、1日あたりの平均時間を記入して下さい。

図 14(a)にアルバイトの有無の回答分布、図 14(b)にアルバイト日数/週別で集計したアルバイト時間を示します。

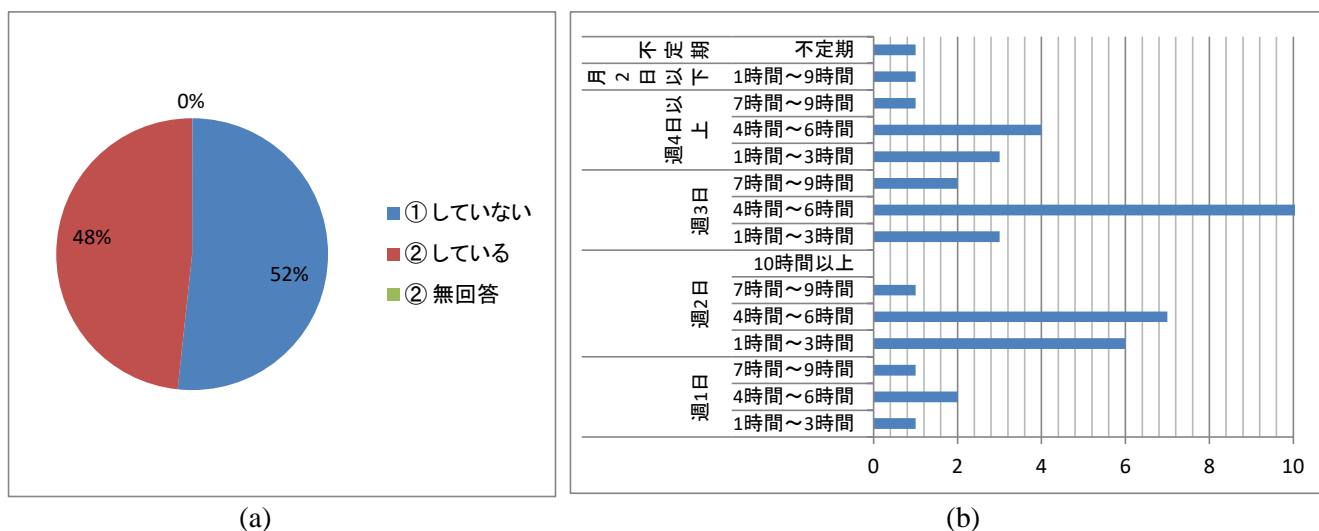


図 14. (a)アルバイトの有無に対する回答分布 および  
(b) 週あたりのアルバイト日数別で集計したアルバイト時間分布

この質問は学生の皆さんのアルバイト状況を調べるためのものです。48%の方がアルバイトをしていると回答しました。回数と時間について、週3日で1日あたり4～6時間が最も頻度が多いとなっています。また、週4日以上も昨年度と同様に高い頻度です。この頻度と時間数から考えると、勉強する時間を圧迫しているように見受けられますが、いかがでしょうか？

15. 大学に入学して約4カ月経過しましたが、入学前にあなたが大学に対して持っていたイメージと異なることはありますか。もしあれば教えてください。

下記に、頂いた意見を原文のまま掲載します。

教授によって差が大きすぎる。先生によって授業の質が全く異なる。	2
好きな授業が取れない	1
時間がない	2
大宮キャンパスが遠すぎる	1
男女比	1
ちよろい	1
案外にぎやかな大学だなと思った	1
華やかじゃない	1
朝が早い	1
必要な授業と無駄な授業との差が大きすぎる	1
休みの日が少なかった	2
第二外国語が学べないこと	1
忙しい	1
遊べない	2
単位を取得するのが大変	1
大学は自由なイメージがあったが思っていたほどではなかった	1
学食をもっと美味しくしてほしい	1
あまりオタクがいない	1
わりと小さい	1
大変	2
高校より厳しい	1
高校の内容の復習が多い	1
学食が高い	1
意外とぼろい	1
東大宮であって大宮キャンパスというのは詐欺	1
キャンパスの周りに店がない	1
学生に対してのケアがしっかりしていることを知った	3
たばこ臭い	1
学生課が予想以上に無能	1
思っていたよりチャラチャラしている人が少ない	1
勉強が難しい	2
授業コマ数が少ない	1
思ったより周りがバカ	1
思った以上に友達ができにくい環境で驚いた	1
人が多い	1
人間がだめになる	1
時間設定が厳しい	1

16. 最後に、電子工学科に対する要望などがあつたら記入ください。

下記に、頂いた意見を原文のまま掲載します。

(個人が特定される恐れがあるものは除いています)

もう少し取得できる単位を増やしてほしい	1
偏差値が低い気がする	1
専門の授業の際、教室が狭い	1
女子生徒を増やしてほしい	1
単位をもっと取りやすくしてほしい	1
もっと質の良い授業で金を取れ	1
水曜日の授業が全体的に寒すぎる	1
最近、電子工に興味がなく、水曜日がかかるたび苦痛である	1
もっと周りの人と仲良くなれるようなことがしたい	1
専門科目の教室を2つ以上に分けて、もっときめ細やかな教育を受けたい	1

最後に

これらの他、皆さんから多くの意見を頂きました。学科をより良くするために、参考にさせていただきます。アンケートにご協力いただいた学生の皆さんに感謝します。

(担当：石川博康 ishkw@sic.shibaura-it.ac.jp、前多正 t-maeda@shibaura-it.ac.jp)